

計画の策定にあたっての基本的な考え方

1 生涯学習推進計画の目的

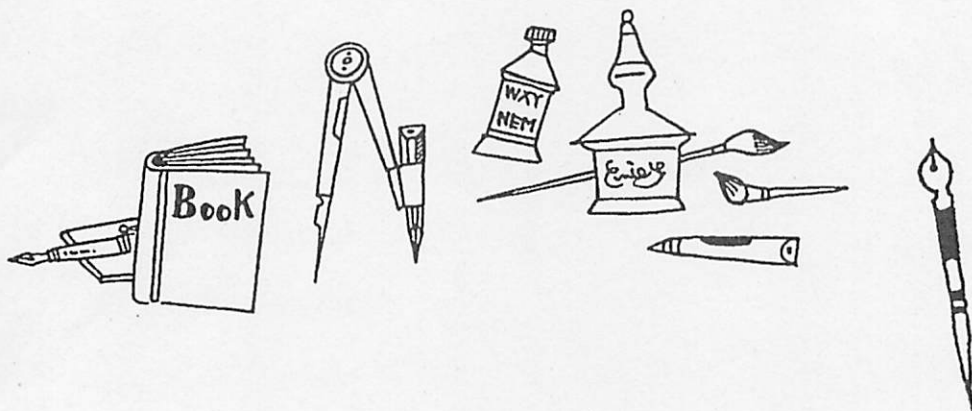
この計画は、府中市総合計画の「人と環境にやさしい活力にみちたまち」の実現をめざし、市民があらゆるライフステージでそれぞれの目的、ニーズに応じて自由に学習の機会や場を選択しながら学ぶことができ、その成果が社会において評価される「心の豊かさをはぐくむ市民カレッジの展開」を図り、生涯学習に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定するものです。

2 計画の位置づけ

- (1) この計画は、府中市で行う生涯学習に関連するすべての事業を対象とします。
- (2) この計画は、生涯学習関連施策を体系化し、総合的に展開することによって、市民の豊かな学習活動を支援します。
- (3) この計画は、府中市総合計画及び他の諸計画との整合性を図りながら推進します。
- (4) この計画は、国の各種審議会の答申や提言、東京都の「まなびプラン'97」及びこれらに基づく施策との整合性に配慮しながら、府中市の生涯学習の施策全般について推進する計画です。

3 計画の期間

平成11年度から平成20年度までの10年間



計画の基本目標

この計画では、次の5つの基本目標を定めました。

1

あらゆるライフステージを通じた学習機会と場の拡充

すべての市民があらゆるライフステージで、豊かな学習活動を進めることができるよう、きめこまかな学習機会の提供と場の拡充を進めます。

2

現代的課題に対応した学習活動への支援

激しく変化する社会に即したテーマで学習できる機会の確保を支援します。

3

学んだことを地域で生かすことができるシステムの整備

市民が学んだことを、生涯学習活動やさまざまな地域活動の中で生かすことができるシステムづくりを進めます。

4

情報提供・相談体制の拡充

市民の自主的な学習を支援する情報の提供・相談体制の拡充に努めます。

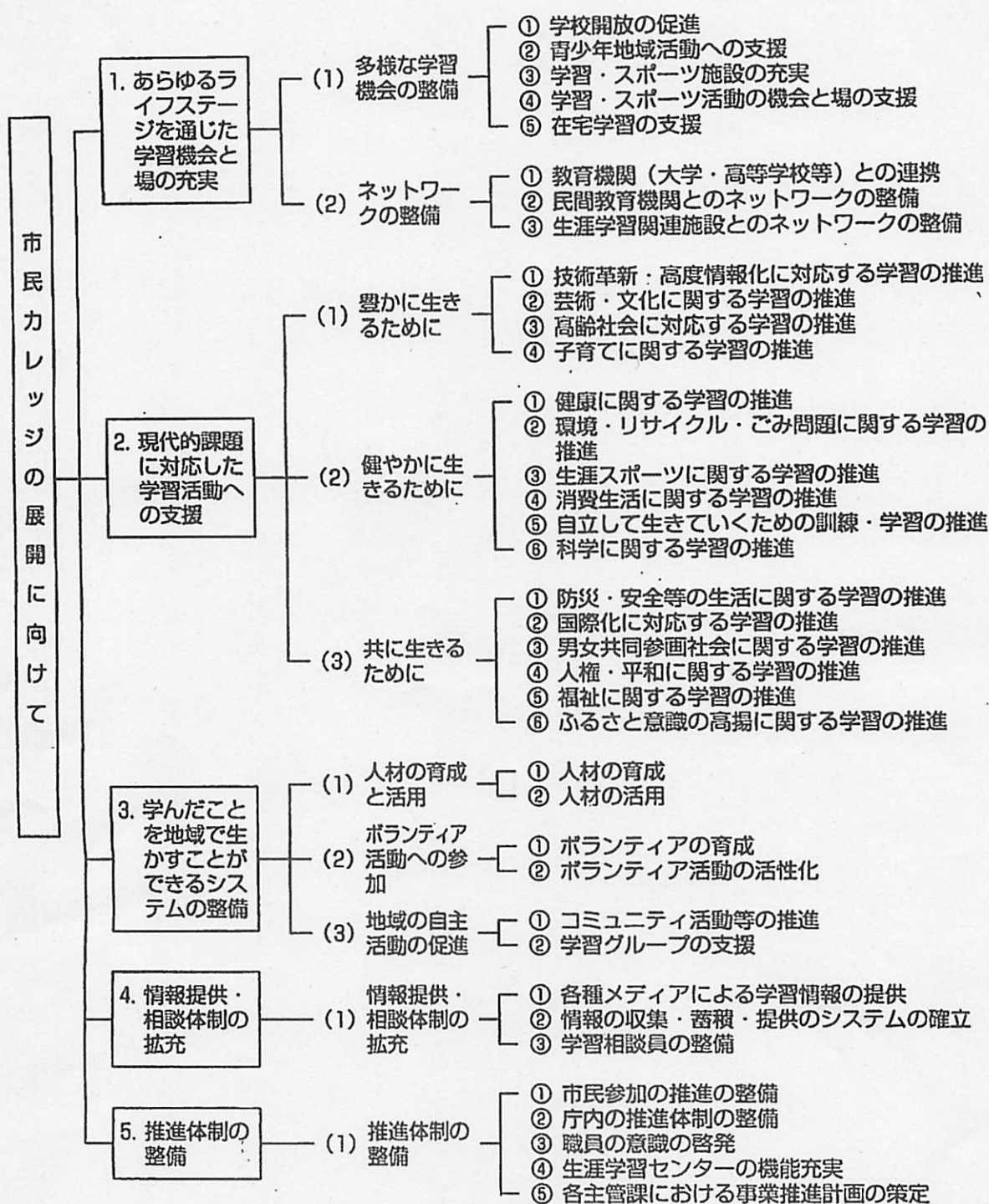
5

推進体制の整備

府中市の各行政分野、施設で行われる学習活動を生涯学習の観点から体系化するとともに、国や都などの公共機関、民間団体、地域、企業などとの役割分担の明確化を図りながら、市民と連携、協力を進め、まちぐるみの生涯学習推進体制の確立に努めます。



施策の体系図



生涯学習推進の重点施策

市民の学習活動を支援し、学習者の活性化を図り、学習成果が社会に活用されるよう、「府中市民カレッジの展開」を目指し条件を整備します。

① カレッジ・100単位（学習機会の拡充）

● 単位修得システム

学ぶ人の目標を明確化し、また目標の達成感を実感できるよう、市全域を大学（カレッジ）にみたて、そこで学ぶ学習者の学習過程と成果を学習者の希望に応じて「単位」という形にすることで、市民の計画的な学習を支援します。

● カレッジ出前講座

自主的な学習活動を支援するため、市に登録された「生涯学習ボランティア」、「生涯学習リーダー」や市職員が、希望する市民の元に出向き、定められたメニューに基づいてそれぞれの専門的知識、技能や行政情報を提供します。

② カレッジ・リーダーバンク（学習リーダーの育成と活用）

従来の「生涯学習リーダーバンク」を発展させ、市内に住むさまざまな特技や能力を持つ市民に多種多様な学習活動に協力いただく制度を創設します。

③ カレッジ・ワークショップ（発表の場、活動の場の確保）

学習者活動のはげみとなるよう、また、その成果を広く社会に役立てることができるよう、発表の場、活動の場の確保に努めます。

④ カレッジ・インフォメーション（学習情報の収集・提供）

学習活動を展開していくために必要な情報を、いつでも容易に取り出し、活用することができ、また、学習相談を手軽に利用できるような学習情報システムの開発を進めます。

